

2006年3月期 第3四半期決算概要

2006年1月26日

日本電気株式会社

(<http://www.nec.co.jp/ir/ja>)

＜将来予想に関する注意＞

本資料には当社および連結子会社(以下NECと総称します。)の戦略、財務目標、技術、製品、サービス、業績等に関する将来予想に関する記述が含まれています。将来予想は、NECが証券取引所や米国証券取引委員会等の規制当局に提出する他の資料および株主向けの報告書その他の通知に記載されている場合があります。NECは、そのような開示を行う場合、将来予想に関するセーフハーバー(safe-harbor)規則を定めている1995年米国民事証券訴訟改革法(Private Securities Litigation Reform Act of 1995)その他の適用法令に準拠しています。これらの記述は、現在入手可能な仮定やデータ、方法に基づいていますが、そうした仮定やデータ、方法は必ずしも正しいとは限らず、NECは予想された結果を実現できない場合があります。また、これら将来予想に関する記述は、あくまでNECの分析や予想を記述したものであって、将来の業績を保証するものではありません。このため、これらの記述を過度に信頼することは控えるようお願いします。また、これらの記述はリスクや不確定な要因を含んでおり、様々な要因により実際の結果とは大きく異なりうることをあらかじめご承知願います。実際の結果に影響を与える要因には、(1) NECの事業領域を取り巻く国際経済・経済全般の情勢、(2) 市場におけるNECの製品、サービスに対する需要変動や競争激化による価格下落圧力、(3) 激しい競争にさらされた市場においてNECが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供し続けていくことができる能力、(4) NECが中国等の海外市場において事業を拡大していく能力、(5) NECの事業活動に関する規制の変更や不透明さ、潜在的な法的責任、(6) 市場環境の変化に応じてNECが経営構造を改革し、事業経営を適応させていく能力、(7) 為替レート(特に米ドルと円との為替レート)の変動等があります。将来予想に関する記述は、あくまでも公表日現在における予想です。新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。また、新たな情報、将来の事象その他にかかわらず、NECがこれら将来予想に関する記述を見直すとは限りません。

本資料に含まれる経営目標は、予測や将来の業績に関する経営陣の現在の推定を表すものではなく、NECが事業戦略を遂行することにより経営陣が達成しようと努める目標を表すものです。

本資料に含まれる記述は、証券の募集を構成するものではありません。いかなる国・地域においても、法律上証券の登録が必要となる場合は、証券の登録を行う場合または登録の免除を受ける場合を除き、証券の募集または売出しを行うことはできません。たとえば、米国において証券の公募が行われる場合には、1933年米国証券法に基づく証券の登録が行われ、NECおよび経営陣に関する詳細な情報ならびに財務諸表が掲載された英文目論見書をもって公募を行うこととなります。

*本資料で使用している「営業利益」および「営業損益」は、日本基準に基づき表示しております。

*フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計です。

*Net有利子負債は有利子負債から現金および現金同等物を控除しています。

総括

NECの課題

- IT/NWソリューションの成長加速
- 半導体、モバイルターミナル事業の
ターンアラウンド

3Q実績：計画通りの業績を達成

4Q：業績予想達成への取組み

06/3期 第3四半期実績サマリー

(単位:億円)	05/3期	06/3期	
	3Q	3Q	
	実績	実績	前年同期比
売上高	11,156	11,447	+3%
営業利益 (売上高比%)	206 1.9%	190 1.7%	-17
税前利益	275	240	-35
当期純利益 (売上高比%)	394 3.5%	208 1.8%	-186
1株当り純利益:基本的(円)	20.23	10.43	-9.80

06/3期	
通期	
予想	前年比
49,300	+2%
1,000	-312
2.0%	
900	-257
600	-79
1.2%	

※予想値は2005年10月27日時点から変更ありません

06/3期 第3四半期セグメント別実績

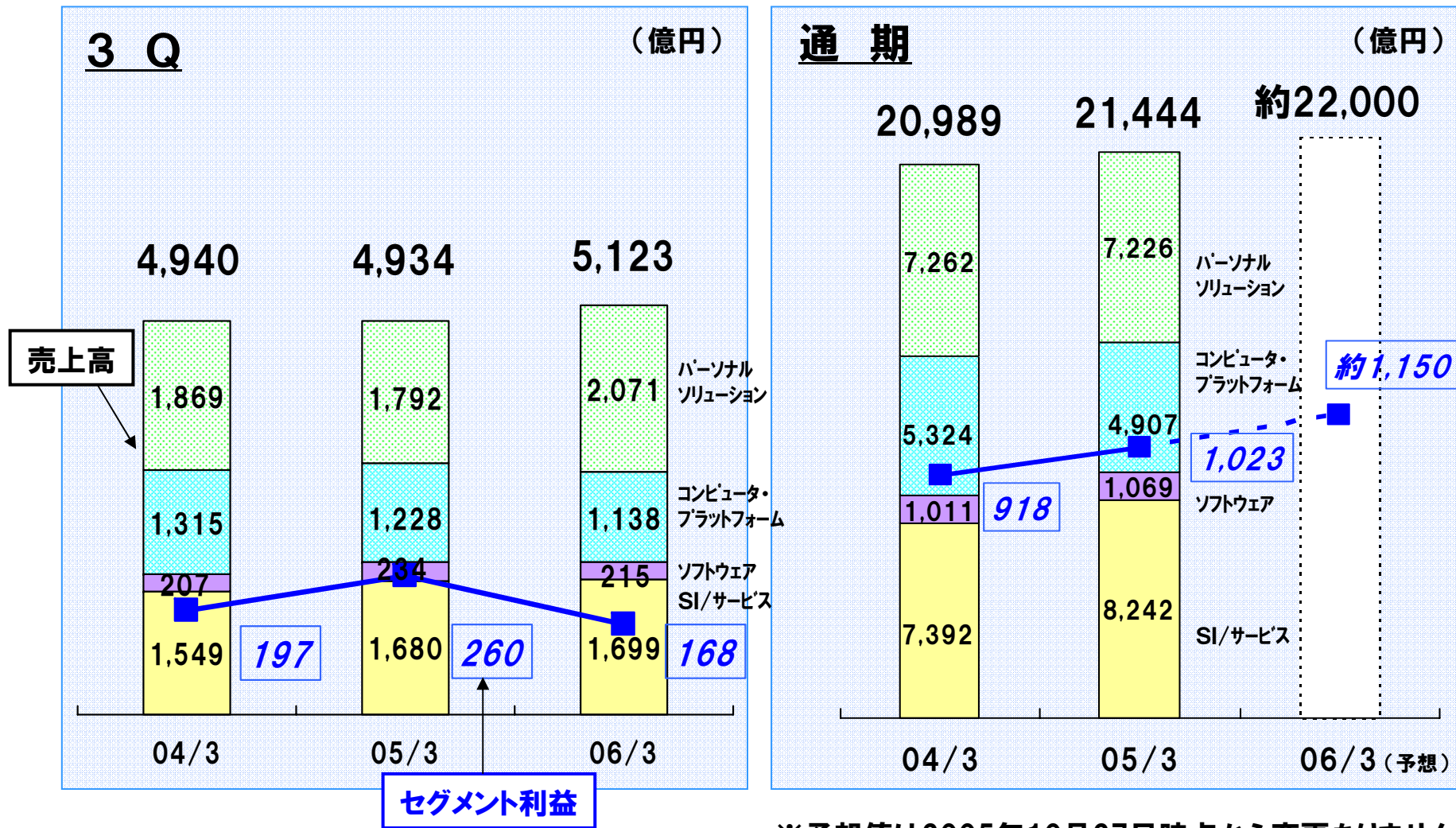
2006年1月26日時点

(単位:億円)		3Q			通期	
		05/3期	06/3期		06/3期	
		実績	実績	前年同期比	予想	前年比
ITソリューション事業	売上高	4,934	5,123	4%	22,000	3%
	営業損益	260	168	- 92	1,150	+ 127
	利益率	5.3%	3.3%		5.2%	
ネットワーク ソリューション事業	売上高	4,349	4,083	-6%	18,300	-3%
	営業損益	69	132	+ 63	500	+ 235
	利益率	1.6%	3.2%		2.7%	
エレクトロン デバイス事業	売上高	2,049	2,075	1%	7,900	-9%
	営業損益	21	-28	- 50	-280	- 652
	利益率	1.0%	-1.4%		-3.5%	
その他 / セグメント間消去他	売上高	-176	166	-	1,100	-
	営業損益	-144	-82	-	-370	-
	利益率	-	-		-	
合計	売上高	11,156	11,447	3%	49,300	2%
	営業損益	206	190	- 17	1,000	- 312
	利益率	1.9%	1.7%		2.0%	

※予想値は2005年10月27日時点から変更ありません

ITソリューション事業の状況

3Q : 売上は堅調、通期 : 計画通りの増収増益を見込む



※予想値は2005年10月27日時点から変更ありません

ITソリューション事業の状況

■SI/サービスは堅調継続

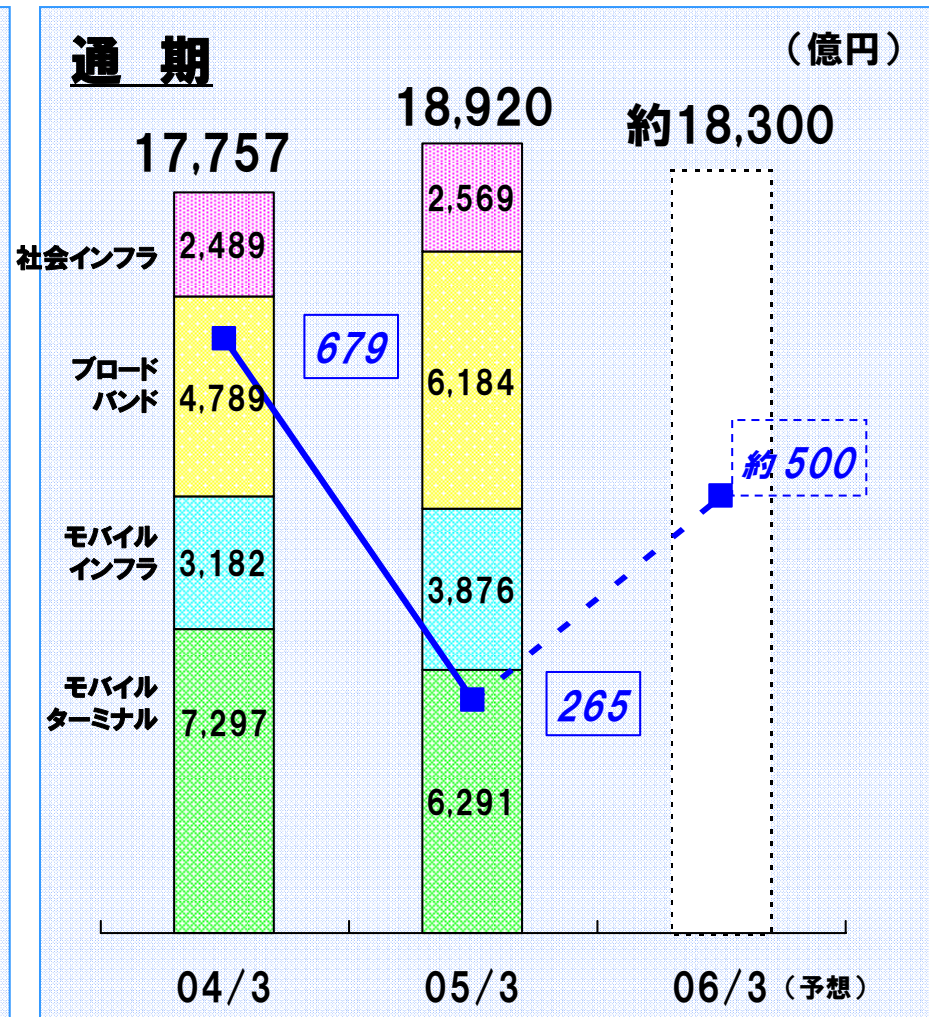
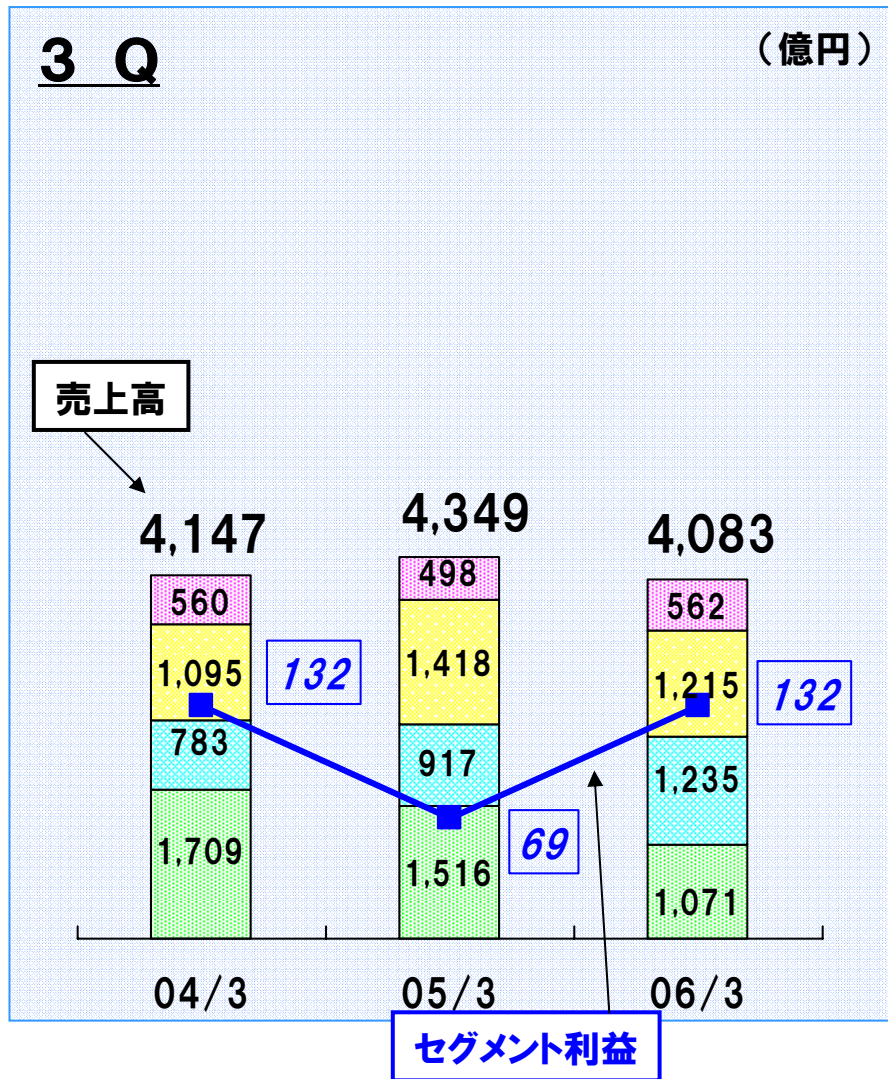
- ◇ 3Q : 厳しい価格低下圧力の中、計画通りの利益確保
- ◇ 通期 : 従来計画達成 (営業利益率:9%) を目指す
 - プロジェクトマネジメントの徹底
 - NES、NECSTの完全子会社化効果の実現
 - アビームとの戦略的資本提携の活用

■SIを支えるプラットフォームも着実に収益確保

- ◇ 3Q :
 - IAサーバ : 堅調な数量伸長
 - 原価低減が黒字確保に貢献
- ◇ 今後の施策 :
 - 高付加価値製品 (ブレードサーバ、省スペース型サーバ、水冷式静音サーバなど) の継続強化
 - プラットフォーム最適化ソリューションの提供 (サーバ統合など)
 - さらなる原価低減の推進

ネットワークソリューション事業の状況

～モバイルターミナル減益も、モバイルインフラで補い3Q利益倍増～



※予想値は2005年10月27日時点から変更ありません

ネットワークソリューション事業の状況

■ モバイルターミナル：

中国事業の建て直し費用により損失計上も、出荷は10月計画通り

3Q出荷台数 約310万台（国内外とも前年同期並み）

- ◇ 国内：市場は上期からは回復傾向
新機種発表による多様な機種展開
- ◇ 海外：収益重視でモバイルソリューション特化へ転換中
中国事業は流通在庫を年度内に整理

■ モバイルインフラは国内外で好調持続

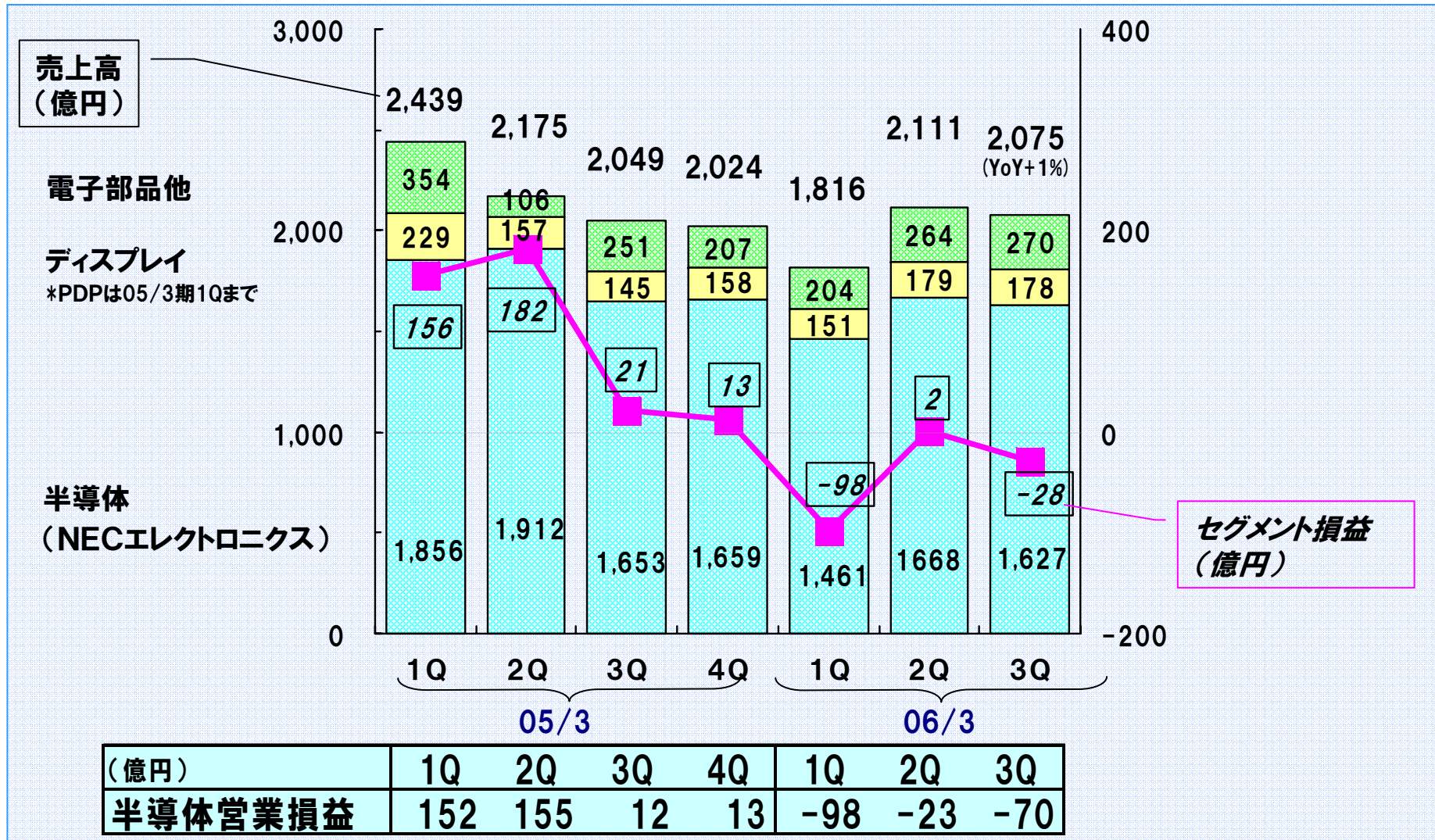
- ◇ 国内：さらなるサービス向上に向けて各オペレータの投資好調
- ◇ 海外：3G、パソリンクがともに伸長継続

■ ブロードバンド事業は堅調に推移

- ◇ キャリア：光加入者の伸びによる光アクセスの伸長が継続
- ◇ 企業向け：UNIVERGEが順調に拡大、セキュリティ等の需要増に対応

エレクトロニクス事業の状況

3Q実績：半導体の売上高は、ほぼ2Q並みの水準



エレクトロニクス事業の状況

■ 半導体

◇ 3Q実績：

売上高（前年同期比 ▲2%）

- － 国内携帯電話機向けシステムLSIおよびシステムメモリなどが減少
- － LCDドライバICやデジタル家電製品向け半導体は増加

営業損益（前年同期比 ▲82億円）

- － 売上高の減少や製品価格の下落の影響を受けて減益
- － 将来の売上増に向けた研究開発費を増額

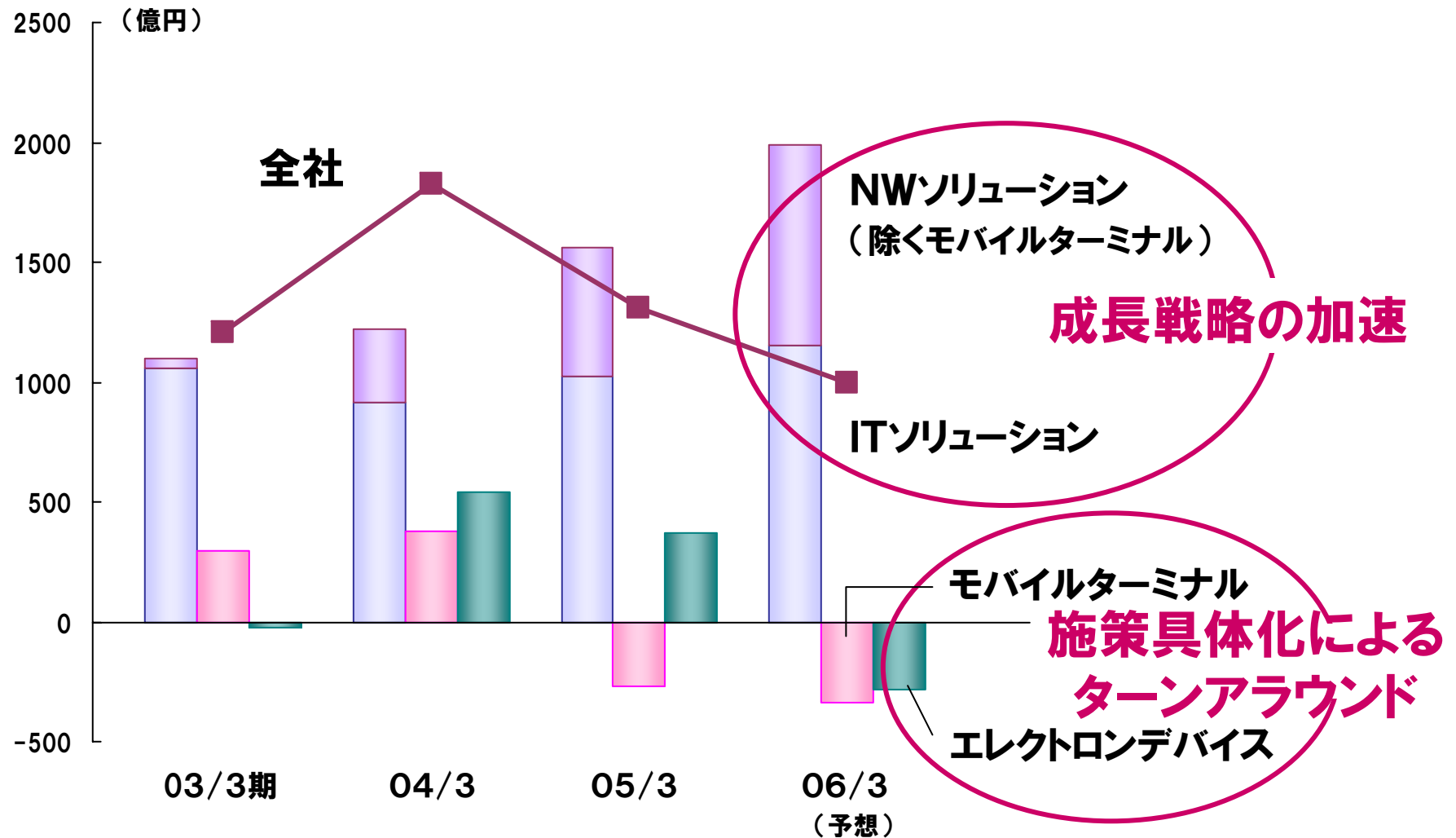
◇ 45nmプロセス技術の共同開発

◇ EMMArchitecture 採用拡大

◇ 光・マイクロ波デバイス事業の一体化

■ 液晶ディスプレイ、電子部品：売上高、利益ともに堅調に推移

まとめ



(注) 全社には「その他」「セグメント間損益の消去/配賦不能費用」を含む

※ 予想値は2006年1月26日現在

Empowered by Innovation

NEC

BS/CFの状況

(億円)	03/12	04/12	05/12	05/3
総資産 (回転率)	42,842 (1.14回)	40,140 (1.21回)	40,119 (1.20回)	39,407 (1.23回)
棚卸資産 (回転日数)	7,195 (54日)	6,805 (51日)	6,314 (48日)	5,289 (40日)
有利子負債 (D/Eレシオ)	12,849 (2.2倍)	12,609 (1.6倍)	11,234 (1.2倍)	11,562 (1.4倍)
Net有利子負債 (NetD/Eレシオ)	8,372 (1.4倍)	7,907 (1.0倍)	6,647 (0.7倍)	6,619 (0.8倍)
株主資本 (株主資本比率)	5,822 (14%)	7,724 (19%)	9,285 (23%)	7,943 (20%)
	03/3Q累	04/3Q累	05/3Q累	
FCF	250	-1,182	-135	

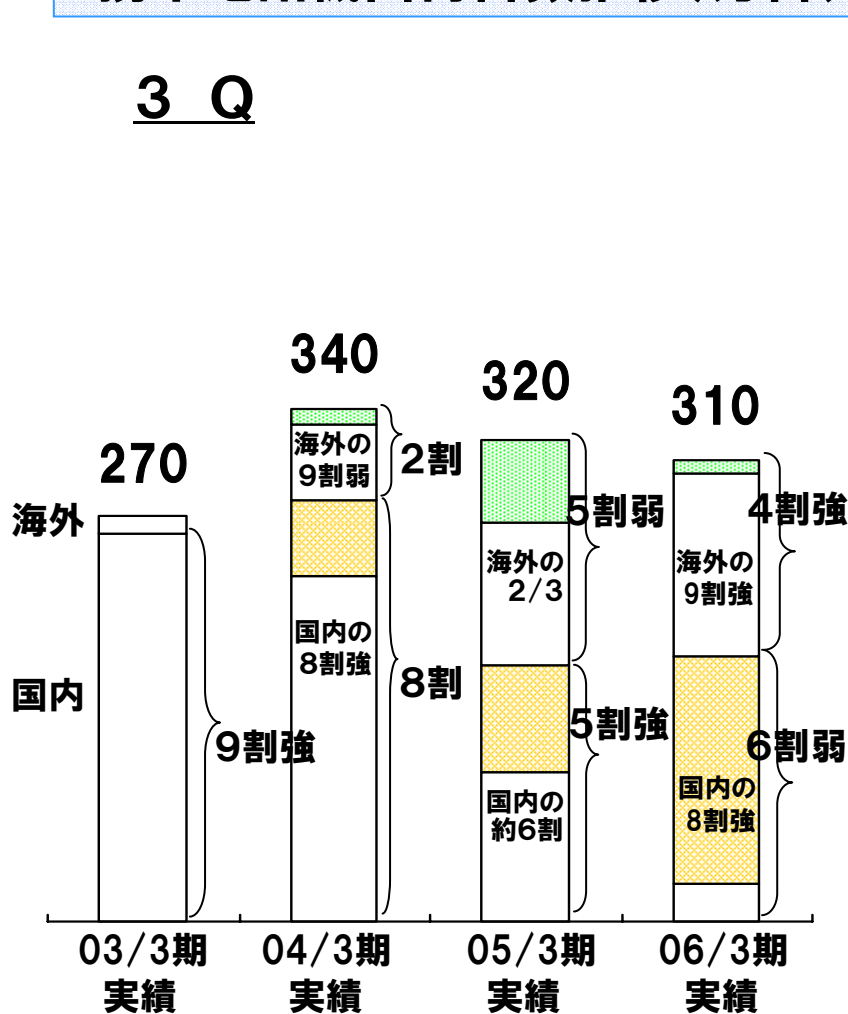
*総資産回転率、棚卸回転日数は、期末残高、前12ヶ月売上ベース

**Net有利子負債＝有利子負債－現金および現金同等物

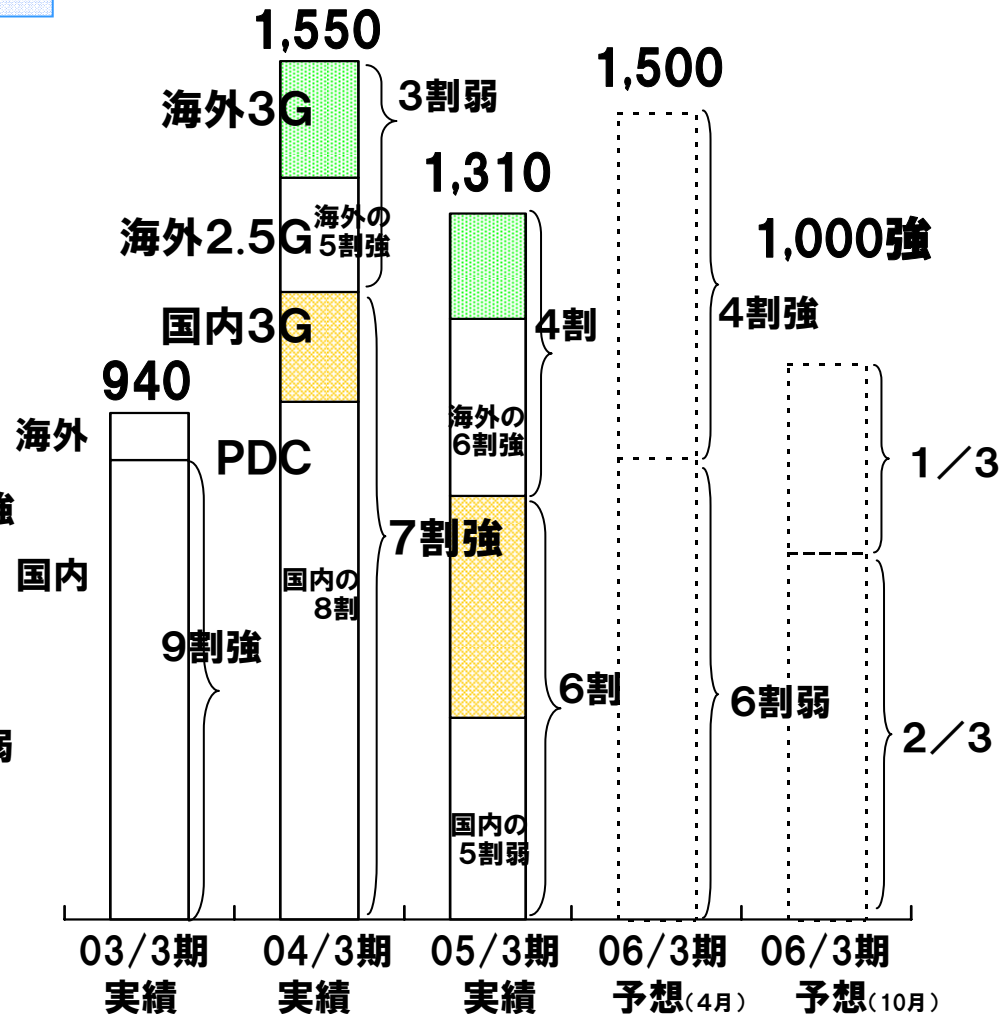
モバイルターミナル出荷状況

携帯電話機出荷台数推移(万台)

3 Q



年間



※予想値は2005年10月27日時点から変更ありません